

# 神奈川県立高校における 情報教育について

神奈川県教育局指導部高校教育課

課長 岡野 親

# 平成15年前後の情報教育への対応

## ◆情報科教員の養成（平成12～14年度）

- 約450人養成（平均3人程度／1校）

## ◆環境整備（平成13年度）

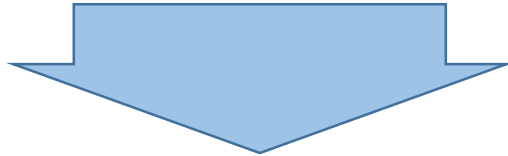
- 全県立高校にP C 40台教室整備
- 全県立高校にインターネット導入

## ◆情報機器活用の手引きの作成・配付（平成13年度）

# 情報機器の整備

## ◆教育用ノートPC整備（平成16年度～）

- $(1 + 8)$  台/年  $\times$  6年 = 54台
- 5年ごとに更新



## ◆タブレット端末整備（平成25～29年度）

- 全校に22台ずつ整備（特別支援学校は全生徒）
- 付属整備：アクセスポイント、書画カメラ2台

# 教育委員会ネットワークの整備

■ 県立高校における個人情報流出事故（平成14年度）



○ 一括管理のネットワーク検討WG



○ ネットワーク整備担当組織の設置（平成15年度）



□ 教育委員会ネットワークの稼働（平成17年度～）

# 県 教育課程研究推進委員会情報部門

○ 県教育委員会が設置している授業研究組織

(構成) 指導主事 2 名、県立高校教員 7 名

(取組) 情報科の授業研究授業づくり

公開研究授業

教育課程説明会で事例発表

(成果) 高等学校教育課程研究集録 (年 1 回発行)

# 神奈川県高校学校教科研究会情報部会

- 研究会等に指導主事が参加し指導助言
- 全国高等学校情報教育研究会第9回神奈川大会

平成28年8月8日(月)・9日(火)

会場：専修大学（生田キャンパス(川崎市)）

来年度の全国大会は神奈川県で開催し、教育委員会としても支援することになります。

よろしくお願ひします。

# 国指定校の取組

- 国立教育政策研究所教育課程研究指定校  
(共通教科 情報科)

平成26・27年度 茅ヶ崎北陵高校  
協働学習・問題解決・ルーブリック

平成27・28年度 茅ヶ崎西浜高校  
プログラミング・問題解決・論理的思考力

# 神奈川県立高校の高校改革

- 高校百校新設計画（昭和48～62年度）
  - ・ 166校（他に分校1校）
- 県立高校改革推進計画（平成12～21年度）
  - ・ 中学校3年生人口の急減  
（約122,000(S62) → 約65,000人(H18)）
  - ・ 141校（他に分校1校）
  - ・ 単位制普通科、総合学科高校等の設置



# 県立高校改革実施計画

## ○ 県立高校改革実施計画（平成28～39年度）

### < 3つの柱 >

- ・ 質の高い教育の充実 → ICT教育 等
- ・ 学校経営力の向上 → コミュニティ・スクール 等
- ・ 再編・統合等の取組 → 20～30校の削減 等

### < 計画期間 >

- ・ 1期4年 × 3期 = 12年計画

# 県立高校改革実施計画

## ○ 主な取組

- ・ コミュニティ・スクールの全校導入
- ・ インクルーシブ教育の推進
- ・ 県立高校生学習活動コンソーシアムの形成
- ・ 各教育推進校、国際バカロレア認定推進校
- ・ 再編統合・学科改編
- ・ 施設設備整備（耐震・老朽化対策等）

# 県立高校改革実施計画における指定校

- ICT利活用推進校（6校指定）
  - ・ ICTを活用したアクティブ・ラーニングなどの指導方法や教材等に関する研究
- プログラミング教育推進校（5校指定）
  - ・ 問題解決の手順や手法を学ぶ方法の一つとしてのプログラミング学習の研究  
→ 思考力・判断力・表現力等の育成

# 生徒による教員向けSNS研修講座

- ◆ SNSをよく理解していない教員に、  
生徒が使い方やリスクなどをレクチャー
  - かながわハイスクール議会（平成18年度～）  
主催：日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会  
共催：県、県議会、県教育委員会
  - 本会議・各種委員会 → 提案 → 施策化
  - 平成27年度 全国知事会「優秀政策」受賞
  - 平成27年3月、平成28年3月実施

# 情報科教員の採用

## ○ 最近の定員・合格者数・倍率

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
採用予定数	10	5	5	5	5
合格者数	8	4	6	6	7
倍率	7.1	14.3	8.5	7.3	6.4
全合格者	370	351	449	320	405

# これから（情報科）教員をめざす人に 期待すること

## ○ICT活用の工夫・改善

他の教員に広げる ⇒ 情報科教員としての使命感

## ○校内の情報化への気概

I C T 機器等に詳しい教員との連携・協力

## ○支援教育の知識・理解

「インクルーシブ教育」における情報教育

ご清聴に感謝します。

ありがとうございました。